広報
さめがわ
昭和61年
8月号
No. 392
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所



次代を担う青少年を健やかに

次の世代を担う青少年が、心身ともに健やかに成長することは、すべての人々の願いです。

鮫川村では村民総参加のもとに、この運動を強力に展開するため、7月30日山村開発センターで、青少年健全育成推進大会を開催しました。

席上西野みどりの少年団を育成した須藤好さん、西山少年消防クラブとスポーツ少年団を育成した坂本忠雄さん、鮫川スポーツ少年団を多年指導した円井浩明さん、健全育成標語の看板製作を奉仕した味原寛一さんが功労者として村長から表彰されました。

8月1日～31日　屋外広告物をきれいにする運動
8月1日～9月20日　シートベルト着用推進運動
8月30日～9月5日　防災週間

今月の人口
（8月1日現在）

		前月比
人口	5,483	(+13)
男	2,712	(+3)
女	2,771	(+10)
世帯数	1,131	(+1)

歴史民俗資料館に沢山の図書を寄附

このたび国分寺市に在住の吉岡佳奈さんから、児童伝記シリーズ三五巻と世界の名作二七巻など、小学生むきの本を沢山寄附していただきました。

吉岡佳奈さんの父は会計検査院の調査官で、去る六月二三日に国庫支出金の交付を受けて建設した歴史民俗資料館等の実地検査に来村されましたが、その際本村の歴史民俗資料館が、設置目的に添って運営されており、特に図書室が整然としていて、多くの村民が喜んで利用していることに深い関心を示されました。

その話しを聞かれた吉岡佳奈さんは、自宅の書棚で眠っていた小学生むきの世界の偉人伝や名作集を沢山寄附してくださったものです。

本村の青少年がこれらの本に親しみ、勇気と希望にもえて健全な人間に成長することが望まれるわけであります。

村政の歩み (40)

林業総合整備事業の進捗

村長　石田卯子八

鮫川村が農林水産省の指定をうけ、林業総合整備事業で開設整備した林道大戸中松倉線について、国の会計検査院の検査が先月行われました。

この検査は村の実施した事務、事業の実地に至るまで、精細且つ厳密に行われましたが、指摘事項はなく無事終了しました。

この機会に、この事業で実施した諸事業も概ね完成に近くなったので、概況を報告してご理解と今後の活用をお願いしたいと思います。

この事業は、林業振興地域総合整備事業として、昭和五五年度に農林水産省が打ち出した新しい施策で、初年度は全国二〇市町村を実施団体に指定して施行されました。

当村は幸にもその一つに選ばれたわけで、七五%という高率補助も従来にない恩恵でありますから、この事業でこれまでに出来なかった村内の基幹的大型林道を重点に、一挙に整備する方針を採ったのであります。

また集落間林道の舗装も行うこととし、林業就労者特に若者の定着を図る研修、交流の場、スポーツ施設用地の整備も併せて行うこととしました。

昭和五五年計画樹立以来、直ちに事業の実施に入りましたが、関係皆様のご熱心なご協力とご尽力を頂き、それぞれ順調な進捗ぶりを示し、林道三路線が一部六一年度事業を残すのみで、その他は全部完成することができました。

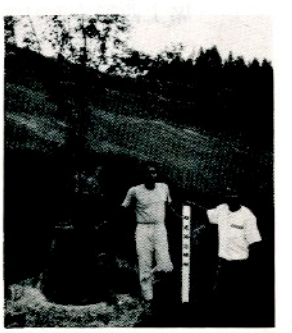
林道整備事業では、大戸中松倉線（四、四〇八m）木戸沢大石草線（一、四六六m）鍬木田福原線（二、三七九m）酒垂宝木線（一、四五五m）中山線（六〇〇m）が完成。東前田線（三、一五五m）下線（二、九三一m）が六一年度完成の予定。

集落間林道では大久保田中線（一、八一五m）中沢降田線（一、七九〇m）が完成。大久保田中線の舗装の残は六一年完成。

用地整備では西山林研広場（八、五八〇㎡）林業後継者育成研修用地整備（一二、三八八㎡）何れも完成しました。

計画当初の総事業費は七億円でしたが、実施事業費は八億一、四八九万二千円となりました。

事業関係の皆様初め、陰に陽にご支援を賜りました各位に心から敬意を表し感謝申し上げますとともに、これらの重要施設が本来の目的に添って広く利用され、所期の効果をあげることを希うものであります。



青少年広場に記念植樹
—61年度初老会—

昭和六一年の初老会（会長宗田　豊さん）から青少年広場に吉野ざくら（三年生）七本が寄贈されました。これを去る六月二九日に会員の皆さんが多目的コートの法側に植樹しました。

図書寄贈

次の方々から歴史民俗資料館一般貸し出し用として図書の寄贈がありました。

厚くお礼申し上げます。

○「日本の刑法」外三七三冊（一四万円相当）
東京都渋谷区　小川　守様（字広畑小川政雄様二男）

○劇画「巨人の星」外八四巻（三万円相当）＝チャリティー益金から
鮫川社交ダンスクラブ
代表　鈴木　和則様

2年連続の金ばれん

鮫川村消防団の栄光



▲東白川支部長から金ばれんが手渡される

七月一一日棚倉町中央公民館で開かれた第三九回福島県消防協会東白川支部幹部大会で、本村消防団に二年連続栄光の「金ばれん」が贈られました。

大会には、松崎団長以下七六名の幹部が出席し、県消防協会東白川支部長から表彰状と金ばれんが手渡されました。

終って石田村長から各種表彰が伝達され、それぞれの功労をたたえました。

各受賞者は次のとおりです。

〔福島県知事表彰〕

◇表彰旗
岩野草婦人自衛消防隊

◇精勤章　副団長　岡部伝

◇永年勤続章（勤続二五年）
分団長　石井　隆夫

〔日本消防協会長表彰〕

◇精勤章　分団長　石井　隆夫

〔福島県消防協会長表彰〕

◇功績章　分団長　松本　恵治

◇精勤章　分団長　蛭田榮次、鈴木辰男、生田目利夫、大森光枝

◇勤続章（勤続二〇年）蛭田榮次、関根市男、生田目勝利、芳賀元治、山形新一、水野一美、大森光枝、平久江勝雄

◇永年勤続退職団員感謝状
一八名

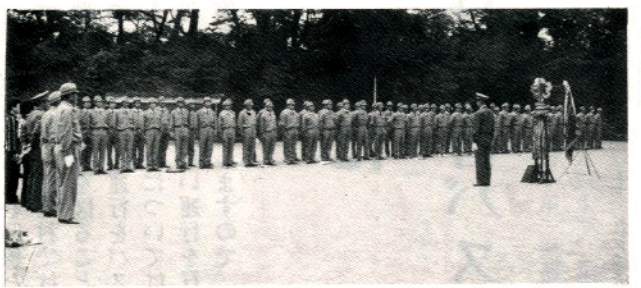
〔県消防協会東白川支部長表彰〕

◇優良分団　第四分団（渡瀬）

◇優良団員、芳賀貞夫、白坂久幸、関根英也、芳賀操、森康治、野崎勇次、笹島孝吉

◇永年勤続団員表彰（勤続一五年）
蛭田守、山形郁夫、鈴木勝正、鈴木正己、矢吹賢一、薄葉正一、蛭田勝二、芳賀操、芳賀文行、小松次男、菊地吉雄、佐藤元治、森田俊榮

◇団体感謝状贈呈　鮫川村農業協同組合



▲亀ケ城広場で行われた各種表彰の伝達式

地域の特性を生かした地場産業
しいたけ生産の振興

村の昭和六〇年度のしいたけ生産量は、生しいたけが六〇・六トン、乾しいたけが一・七トンで、棚倉林業事務所管内一二市町村の中で、それぞれ五位と六位の生産量であります。

村では、貴重な広葉樹資源を村内で有効に利用し、林業の活性化を図るため、しいたけ振興計画を樹立して生産量の増加を進めることにしております。



構造改善事業がスタートし、共同利用によるしいたけ生産施設の導入が予定されており、これが先導的役割を果すよう期待されています。

また、国・県によって各種振興事業や資金も準備されています。



これには、経営規模の適切な拡大や、技術の高度化による単位収量の増加、さらに、生産者の増加等が不可欠ですが、来年度からは、山村林業

村の森林資源のうち、しいたけ原木の供給源である広葉樹面積は二、四一一ヘクタールで、民有林面積五、九九二ヘクタールの約四割を占めています。しいたけの生産は地域の特性を生かした優れた地場産業で、今後の普及増産が期待されます。

10月1日から 路線バスを再編成

自家用車の増加などで利用者が激減し、赤字経営に苦しむ路線バスの対策は、関係町村の悩みのたねになっていましたが、鮫川村では一〇月一日から運行形態の再編成を行い、路線バスの維持を図ることになりました。計画では、棚倉線、塙線についてはバスの運行をバス会社に委託する「代替バス」で運行することにし、石川線については、現在運行している四系統を統合して一本化し、効率の良い運行を行ってもらう計画です。次に、その計画の内容をお知らせしますので、ご協力をお願いします。



石川線は系統を一本化

塙線、棚倉線は代替バス

バス路線には、第一種路線（乗車密度一五人以上）、第二種路線（同五人以上一五人未満）第三種路線（同五人未満）があります。

利用者の多い第一種は、バス会社が自らの採算によって維持しています。第二種は、赤字分を経常収益に合わせて国・県・村が六分の一以上を負担し、残りをバス会社が負担しています。次は乗車密度五人未満の第三種で、赤字分を村が二分の一、国・県がそれぞれ四分の一ずつ負担する仕組みで、わが村の路線は概ねこれに該当し、多額の補助金を支出して、これまで運行を継続してきました。

ところが、この補助制度も第三種路線については、三年を限度に国の補助金が打ち切られることになりました。

また一方、バス会社のバス路線整理計画でも、鮫川線については全路線が廃止計画になっていることから、村では生活路線バス運行維持対策会議等を開催して、具体的な対応策を検討してきたわけです。

◇昭和60年度路線バス運行状況

路線区分	路線名	運行回数(回)	乗車密度(人)	補助金	左の補助区分		
					国県補助	町村補助	うち村補助
第2種	西山経由石川	2	5．5	4,726,092	3,979,939	286,523	459,630
	八幡下経由石川	3	5．1	7,676,008	5,834,662	1,171,096	670,250
	渡瀬経由塙	3	5．4	8,579,813	5,256,322	280,990	3,042,501
第3種	塩の沢経由石川	2	4．7	2,814,049	1,407,024	773,864	633,161
	浅川経由棚倉	4	3．7	15,590,030	7,795,015	4,450,954	3,344,061
計		—	—	39,385,992	24,272,962	6,963,427	8,149,603

警察官・交通巡視員

採用候補者試験

昭和六一年度の福島県警察官（高卒程度）・交通巡視員採用試験が次により行われます。

＝＝＝＝警　察　官＝＝＝＝

◇採用予定人員　約二五名

◇受験資格　昭和三四年四月二日から昭和四四年四月一日までに生まれた男子

◇受付期間　九月一日（月）～九月二〇日（土）

◇試験期日　一〇月一二日（日）

＝＝＝＝交通巡視員＝＝＝＝

◇採用人員　若干名

◇受験資格　昭和三八年四月二日から昭和四四年四月一日までに生まれた女子

◇受付期間　九月一日（月）～九月二〇日（土）

◇試験期日　一〇月一二日（日）

受験手続きなど詳しくは、棚倉警察署（三三―三二四一）へお問い合わせください。



■石川線

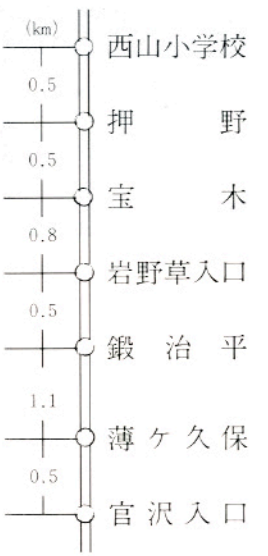


石川線については系統の再編成を行い、現在運行している四系統（石川～西山、石川～湯ノ田、西山～湯ノ田、石川～酒垂）を一本化して、路線バスの維持を図る計画です。

これに伴い一部路線が変り、水口・官沢間は「宝木～鍛治平～薄ケ久保」を経由する路線に変更され、会社が陸運局に申請することになります。

運行系統名は「宝木経由鮫川線」とされ、起点が石川営業所で終点が湯の田湯泉。運行回数は一日四往復で、新規の需要を見込み、効率の良い輸送を行う計画になっています。

水口．官沢間の新停留所



■塙線、棚倉線

塙線・棚倉線については、今後も大きな需要が見込めないことから「代替バス」で運行する予定になりました。

代替バス制度には、バスの運行を①市町村が直営で運行する②市町村が直営で運行するが、運転業務を委託する③市町村が貸切バスを借上げて運行する④市町村の依頼を受けて貸切バス会社が運行する――の四つ形態があります。

わが村の場合④の形態が採用されましょう。

これらの形態で運行した場合の実車走行一km当り九九円六八銭のうち国・県が三分の二、市町村が三分の一を負担するという制度（別図）で、市町村の負担が大幅に軽減されることになります。

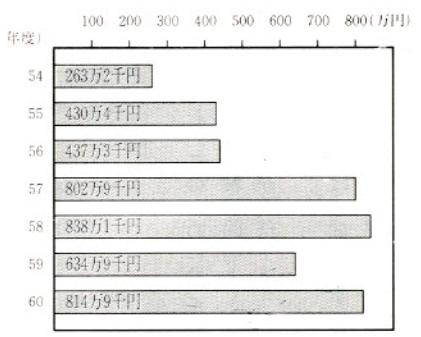
運行系統は現状どおりで、運行回数は塙線、棚倉線とも一日三往復ですが、日曜、祝日は運休となります。

運行経費	運行収入	
	国	1/3
	県	1/3
	市町村	1/3

1km当り99円68銭

―はる合す場担た負出がが村足町不市

路線バス村負担金の推移



国税だより

お酒や品物にかかる税金

酒税は、清酒やビールなどのお酒にかかる税金で、物品税は、宝石類やゴルフ用品、自動車など主に装飾品や娯楽用品、し好品などにかかる税金です。

これらの間接税は、税金を納めるのは商品の製造者や小売業者ですが、これらの税金は商品の価格の中に含まれているため、最終的には商品を買った消費者が税金を負担することになります。

個人事業税

納期限は8月31日まで

個人で事業を営んでいる方に対して課税される個人事業税の第一期分の納期限は、八月三一日です。県税事務所から送付された納税通知書により、最寄りの金融機関で納入してください。

なお納める場合、便利な口座振替制度もありますので、詳しくは白河県税事務所（☎〇二四八、二二―二一一一）へお問い合わせください。

消防操法競技会

ポンプ車は第1分団が優勝
小型ポンプは第4分団

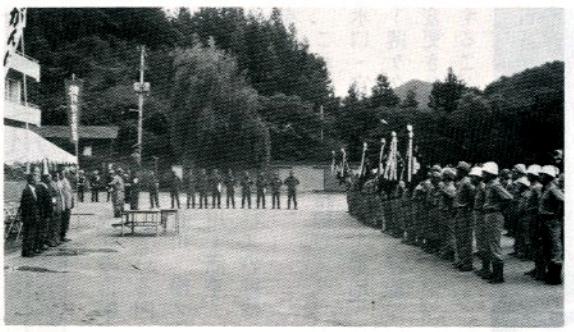
消防団のポンプ操法技術の向上と消防精神の高揚を目ざす消防操法競技会が、七月一三日鮫川小学校々庭で行われました。

この日各分団を代表する精鋭の選手団員小型は七チーム、自動車は二チームが出場しました。

それぞれ日頃訓練を積んだ妙技を披露し、正確迅速な動作は参観者を感銘させました。

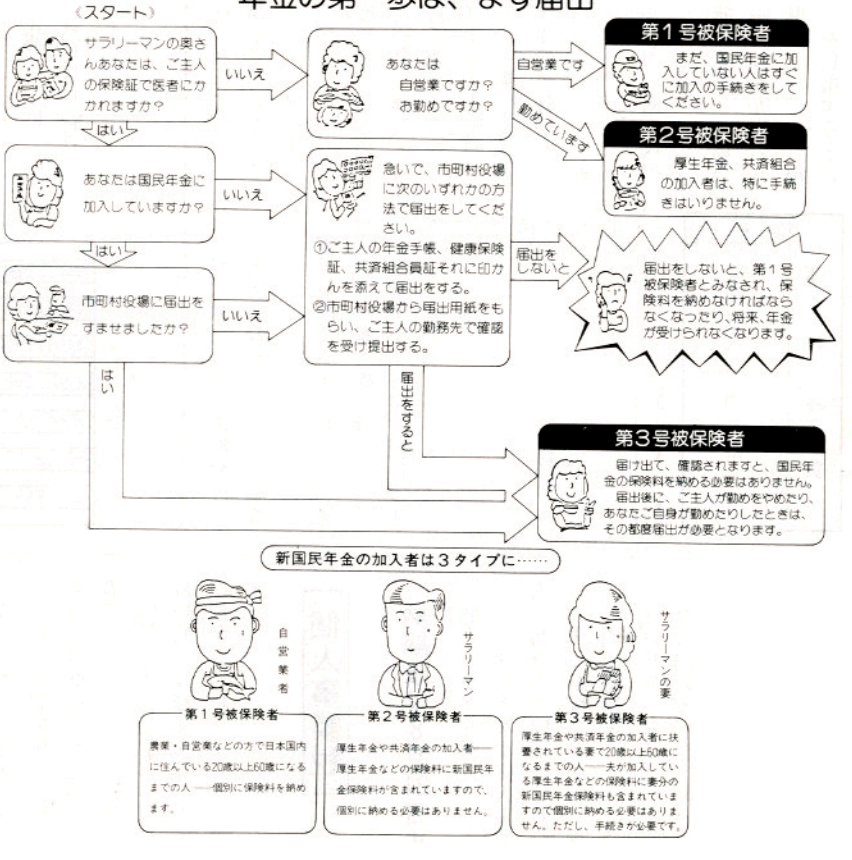
審査の結果は、小型第一位が第四分団（渡瀬）第二位が第七分団（青生野）第三位が第五分団（東石）でした。

自動車は、第一位が第一分団（中野）第二位が第五分団（東石）の順位で、優勝分団は七月二五日塙町で行われた東白川支部大会に出場しました。





届出を忘れると大変！
年金の第一歩は、まず届出



厚生年金保険等の被保険者の配偶者（サラリーマンの奥さん）で、健康保険の被扶養者になっている奥さんは、四月から国民年金法の改正により、国民年金の保険料を納めなくても、自分名義の年金がもらえるようになりました。

しかし、このためには、国民年金の第三号被保険者として、届出することが義務ずけられています。

大部分の方は、届出の手続を終ったところですが、まだ手続が済んでいない方は、すみやかに印鑑と、健康保険証をお持の上、役場住民課で手続をしてください。

この手続をしないと、将来自分名義の年金が受けられなくなります。またこれによって、奥さんの保険料がご主人の給料から差引かれることはありません。



交通安全を呼びかけ
見渡地内でテント村

交通安全テント村が、七月三一日午後四時三〇分から一時間赤坂西野の見渡地内で開かれました。

テント村には交通安全協会、交通安全母の会の役員ら約二〇人が参加し、ドライバーに風せんやチラシなどを配り交通安全を呼びかけました。

女性運転者の講習会開く
――130人が熱心に受講――

女性運転者を対象とした安全運転講習会が八月五日午後七時から山村開発センターで開かれました。

講習会には約一三〇人が参加し、棚倉警察署交通係の阿部巡査部長の講話を熱心に聞き入っていました。

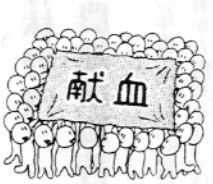


献血ありがとう

七月二九日、村内巡回採血で四九名の方々から献血にご協力をいただきました。ありがとうございました。

献血に協力された方は、次のとおりです。（敬称略）

▽斉藤克子▽藤田ヨシエ▽須藤三代子▽市川信子▽関根義明▽大竹トミ▽須藤ヨシ子▽関根保吉▽我妻信治▽水野弘▽藤田洋美▽関根武捷▽高坂栄子▽遠藤裕美▽湯坐良政▽生田目邦一▽根本富子▽星秀子▽蛭田昌一▽緑川政芳▽生田目丈夫▽円井キシ▽佐藤博▽根本良子▽吉田文子▽新妻義美▽佐藤勇▽円井節子▽斉須寛一▽鈴木治男▽関根明美▽関根英男▽生田目光枝▽藤田香▽大平啓子▽矢吹比佐子▽増谷隆夫▽菅野寿彦▽柿沼美津恵▽湯坐純隆▽高坂典子▽蛭田マス子▽赤坂孝男▽小松豊子▽白坂寛▽小松重雄▽赤坂光子▽白坂邦次▽前田孝子



文芸

俳句

道少田　山本五十鈴
黄すげ咲く尾瀬の光の中に立つ

新宿　斉須信子
花菖蒲一つの息に活け終わる

宿ノ入　田中義明
雲切れへ凍となきだす蟬一つ

大塩　矢吹呂孝
初虹を残して晴れているふもと

上高坂　蚯切
四十九日の亡妻へ新ジャガ供えけり

道少田　山本朗史
うぐいすの声垂直に梅雨明ける

反田　小山田清哲
梅雨晴間あれもこれもと多忙妻

横座　矢吹茂
蟬しぐれ棒のごとくに眠りけり

彦次郎　星サダ子
梅雨空やホースをたたむ消防士

大平　関根金利
牛小屋へ込む草山と刈り上げる

大根屋敷　萩原ミノ
朝露に半身おぼれ草を刈る

青生野　石井ふゆ
窓あけて夏の蝶みる農休日

前折戸　矢吹喜一
青田みし安心の顔句を作る

福原蛭田　道郎
マリンタワーの展望みたす夏港

短歌

新宿　杉山忠男
庭池に陽除るつゆ空倒影しその空中に日輪光る

名下　須藤美代子
冷蔵庫開ければ素脚に心地よき冷気伝わる梅雨明けとなり

滝平　円井モト
庭先に降り立ち馴れる親子雀餌口うつす様夫と楽しむ

折戸　阿久津ミツ
人生の姿模すがのゲートボール攻めぎ切りぬけゴールイン果たす

広畑　岡部ヒサ子
花園にあの世の人は憩うとか極楽浄土を想わせる尾瀬

越虫星　武
つゆ雨の晴れて夕づく流れ辺に糸垂る人はしばし動かず

関口　藤田マサ
土手沿えに老婆摘草つゞいてそよ吹く風に端毛さゆれる

酒垂　石井カヤ
梅雨曇る庭に咲きいるあじさいの花色日毎にさえざえとする

棚橋　関根一好
山墓のうからの墓標孫達に語りきかせつつ香華手向ける

巡ケ作　鈴木米子
軽井沢の風さわやかにペダル踏む旅のひととき若き気分で

農委だより

要求米価実現へ
県下農委・中核農家大会開く

農業基本政策の確立、要求米価実現、食管制度の堅持など六つのスローガンを掲げた農業構造政策・稲作経営確立農業委員、中核的農業者代表者大会は七月九日、福島市の市民会館で代表五〇〇人が参加して開かれました。

鮫川村農業委員会からは、国井職務代理者と金沢農地小委員長が出席しました。今年の生産者米価は、大蔵省が引下げの方針を打ち出すなど、厳しい情勢の中での大会とあって熱気にあふれていました。

大会は、最初に主催者を代表して鈴木省吾会長が「二一世紀を展望した農業を確立するためには、基本農政をしっかりすると同時に、農業生産の担い手である中核農家の育成に施策を集中化する構造政策を確立し、推進しなければならない。また、米価は引き下げか据え置きか焦点となっているが、一八、六六八円以上の要求実現に向けて邁進することで決議したい」とあいさつがありました。

議事では、「農業基本政策の確立と構造政策の推進」「水田利用再編対策と食管制度の堅持」「昭和六一年度生産者米価」「農産物の市場開放阻止対策」の四議案が提出されました。

なお、「水田利用再編対策」では、ポスト三期を決定するにあたっては、転作面積は転作できる限界を十分考え、配分方法も適地適産を配慮し、本県のような良質米安定生産地帯への傾斜理分は継続すべきであるとし、「生産者米価」については、六〇キロ当り一八、六六八円以上の要求実現へ向けて全力を尽すことがいずれも満場一致で決議し、国や県に強く働きかけるを確認しました。

なお、八月九日に、昭和六一年の米価は、水田利用再編の転作等を条件として、据置価格の一八、六六八円と決定になりました。



▲熱気にあふれる県下農委・中核農家代表者大会

昭和61年米価据置決定!!

国有林野内
農地所属替

昭和六〇年度に、石川営林署、棚倉営林署から借り受けている国有林野内農地の所属替の要望をとりまとめ提出していましたが、昭和六二年度に所属替されるはこびになりました。

調査は借受地を一筆毎に現地踏査を行い耕作状況を見ることになり、今回が最後の所属替になるので、借受耕作地については、管理状況が良好であるように今から手入れして置いてください。

農作物の販売、資料の買い入れ名義など農業経営にかかる諸名義を変える必要があります。

まだ名義を変えていない人は、すみやかに諸名義を変えてください。変更手続きをしないと年金の支払いが停止される場合や、経営移譲時にさかのぼって返還しなければならなくなる場合もありますのでご注意ください。

農業者年金受給者の皆さんへ

農業経営移譲には
諸名義の書換も忘れずに

農業者年金経営移譲年金受給者の皆さんには、八月分の農業者年金支払い通知と一諸に諸名義変更等の確認書類を送付しました。

これは、適正な経営移譲を確保するための改善措置の一環で、単に農地等の権利名義を変えるだけでなく、諸名義も移譲の相手方（後継者または第三者）に移っていなければならないわけです。

経営主として今まであなたが行っていた農業共済の関係名義、転作奨励金の申請名義、農業所得の納税申告名義、土地改良区と農協の組合員名義（農協と土地改良区については、例外的に移譲者が名義を保有することを認められる場合もあります）、



公民館だより

楽しく思い出に残る
文化財教室

七月二九日、村内の小学校四五・六年生八五名と先生八名が参加した公民館主催の文化財教室が開催されました。

午前九時から山村開発センターで開会式が行われ、鈴木公民館長から文化財教室の目的などについてお話があり、矢部教育長・石田村長から「村の文化財を学習しながら、ふるさと鮫川村の自然やうるわしきふる郷を理解して、少年時代の良き思い出となるように」とあいさつがありました。

オリエンテーション後、午前九時三〇分スクールバス三台に分乗して、馬の観音として厚く信仰された大塩の観音様、江戸時代に幕府から派遣された巡見使や代官・領主などの御休所として利用された水野家書院、水野家書院の庭にある西山のいちい、棚倉と磐城を結ぶ旧街道の道標追分石、災厄を救い馬を守護する霊験ある板碑供養塔を安置した切石観世音、薬師如来立像・金剛力士立像を安置してある富田薬師堂を見学してから、二見が滝・青葉の滝・そうめんの滝などがある江竜田の滝で楽しく昼食を取りました。

昼食後、災害はいつおこるかわからないものであるから、平素から充分に注意しておかなくてはならないと後世の人々へのいましめとして保存されている渡瀬村救荒修祭記碑、渡瀬村の名主赤坂氏によって建てられた旧赤坂家長家門、八〇ヘクタールに及ぶ採草地を有する鹿角平乾草供給センター、江戸時代凶作などのため、食料不足により多くの幼い命が失われ、その子どもの霊をなぐさめるためにつくられた世々麦の六地蔵、天狗がかけたといわれる天狗橋を見学して午後三時三〇分山村開発センターに着き、まとめて閉級式を行い、午後三時五〇分解散しました。

夏の日ざしが照りつける大変暑い一日でしたが、有意義で楽しい夏休みの一日となりました。



▷秘境天狗橋でひと休み



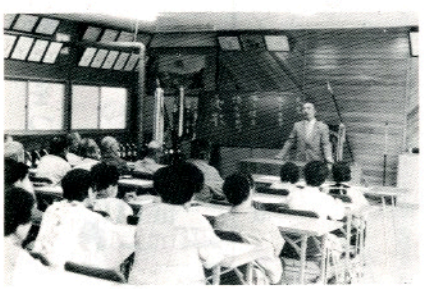
▷江竜田の滝で楽しい昼食

法話を聞いた
社会学級

社会学級七月講座は、一一日が中央教室と富田教室、一五日が渡瀬教室と青生野教室、二一日が西野教室と西山教室がそれぞれの会場で開催されました。

各教室とも、講師に中島村の住職宍戸十善先生をお迎えして、法話「ほとけの心」についてお話を聞きました。

私達の知らない極楽浄土や仏のお話に学級生一同熱心に聞き入り大変意義ある学習でした。



△西野教室の皆さん



▷大塩の観音様で説明を聞く参加者

県民スポーツ
県南大会

第三九回福島県総合体育大会県民スポーツ大会県南大会が八月二四日行われます。鮫川村会場では、午前一〇時から壮年ソフトボールと家庭バレーボールの二種目が行われ、村代表として西野チームと渡瀬Aチームが出場します。

福祉年金証書の提出を忘れずに

八月は、老令福祉年金の受給者が、年金証書を提出する月です。

この手続きをすれば、八月以降一年間の福祉年金が受けられるかどうかが決ります。受給後は、忘れずに年金証書を役場住民課に提出してください。

気軽にご相談を——行方不明者相談所

県内の家出などによる行方不明者は、過去一〇年間で約六〇〇人、また自殺や事故で死亡した身元不明の方が八三人に達しています。

県警では、八月中の一か月間を「家出人、行方不明者をさがす月間」として、各警察署に相談所を開設し、相談に応じています。

身内の方や親せき、知人などに行方不明者がいて困っている方は、気軽にご相談ください。

（棚倉警察署）

新有権者のつどいに参加してみませんか

福島県選挙管理委員会では、「新有権者のつどい」の参加者を募集しています。

このつどいは、成人として必要な政治、経済、文化等の学習やレクリエーション等を通じて、成人となった自覚を深めてもらおうと開催するものです。

参加費用は、県と村で負担しますので無料です。あなたも、県内の仲間と楽しいひとときを過ごしてみませんか。

◇期日　昭和六一年一〇月三日（金）～一〇月五日（日）

◇場所　国立磐梯青年の家（福島県耶麻郡猪苗代町）

◇参加資格　昭和六二年四月一日現在で、満一九歳から二二歳までの方

◇申込先

希望の方は、九月三日（金）までに村選挙管理委員会へ電話で申し込みください。

きれいな広告で　美しい郷土をつくろう

八月は、「屋外広告物をきれいにする運動月間」です。

違反広告物や廃棄されたものなどを一掃し、美しい郷土をつくりましょう。



おめでた

六月

越虫　蛭田　浩章　父蛭田浩良

七月

西　高坂あさみ　父高坂　登

六打石　佐藤　美幸　父佐藤征一

辺栗　生田目奈央　父生田目良則

戸草　本郷　政希　父本郷金一

中野中　赤坂　美和　父赤坂孝男

上耕地　山形　達朗　父山形郁夫

大戸中　小松末男59歳　小松光明

おくやみ

七月　年齢　世帯主

虹ケ沢　石井重徳79歳　石井勝男

水口　大竹タカノ80歳　大竹國吉

心配ごと相談

8月20日(水)
午前10時～午後2時
鮫川村山村開発センター

休日の在宅当番医

月日(曜)	当番医院 棚倉町	塙町	矢祭町
8月17日(日)	中央病院	車田	
24日(日)	和田	根本	
31日(日)	阿部田	厚生病院	
9月7日(日)	藤田		慈泉堂
14日(日)	勝田	石川	
15日(月)	菅原		木村

ゴミの収集日

収集コース	種別	8月	9月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	18.21 25.28	1.4.8.11.18 22.25.29
	不燃物	22	5.19
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	19.21 26.28	2.4.9.11.16 18.25.30
	不燃物	22	5.19
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	21	4.18
越虫～青生野～葉貫～戸草～蔵の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	20	3.17
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	—	12
官代～橋久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	22	5.19

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※　ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

高せり市場だより

（61・7・20）

性別	頭数	取引価格 最高	最低	平均	平均体重	平均月令
	頭	千円	千円	千円	kg	月
雌	123	616	173	274	244	9.7
去勢	147	386	232	319	269	9.5
計	270			298	258	9.6

今月の納税　村県民税(2)　国民健康保険税(3)　納期限 8 月25日(月)